



割られた照明灯カバー



壊された手すり

やめよう！公園のいたずら

問 街づくり推進課 ☎84-0321

みんなの公園を大切に使おうね!!

力をお願いします。

いたずら防止や利用マナー向上にご協力を

町でも、定期的に公園のパトロールを実施しています。器物損壊等の迷惑行為を見

かけたときは、速やかに街づくり推進課または警察にご連絡ください。

町では、子どもからお年寄りまで、誰もが楽しく安心して過ごせる場所として、また、地域住民の交流拠点や災害時の避難場所として公園を整備しています。

しかし、残念ながら、公園施設の破損が後を絶ちません。今年の5月には、開成駅前公園(下島)の照明灯カバーが割られる被害がありました。また、6月には、松ノ木河原第1公園(上延沢)の階段部の手すりが壊される被害がありました。

このような行為は、刑法の器物損壊にあたります。また、このような被害があった場合、町は警察へ被害届を提出し、重点的な巡回を依頼しています。

公園ボランティア募集中!

公園の清掃や草刈りなどに協力していただけるボランティアを募集しています!皆さんの少しの時間と大きな愛情で公園管理をお願いします!

詳しくは、街づくり推進課までご連絡ください。

浄化槽を適正に管理しましょう

10月1日は「浄化槽の日」

問 環境防災課 ☎84-0314

浄化槽は、微生物の働きを利用して、汚水をきれいにする装置です。槽内の微生物がきちんと能力を発揮できるよう、適正に維持管理することが大切です。

合併処理浄化槽への切り替えを

町では自ら居住する住宅において、既存の単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする方に対し、その設置費用の一部を助成しています。※下水道計画区域以外の地域が対象です。※新築に伴う設置は対象になりません。

問 (一社) 神奈川県保健協会 西湘支部 ☎0463-73-0511

【保守点検】

年に3〜4回、装置類の調整、消毒剤の補充、害虫駆除など、県登録業者の保守点検を受けましょう。

【清掃】

毎年1回、必ず異物などを引き抜き、機器を洗浄清掃しましょう。

問 (有) 共和衛生工業 ☎82-0030



開成町から全国で輝く!

前月号に引き続き、全国で大活躍する町出身の皆さんをご紹介します。

問 自治活動応援課 ☎84-0315
問 企画政策課 ☎84-0312



野球

悲願の甲子園出場!

小玉 佳吾さん(東海大菅生高3年)(上島)

小学校2年生の時、友人の誘いで野球を始めたという小玉さん。今年の8月、第99回全国高等学校野球選手権大会(甲子園)に出場し、ベスト4に輝きました。大会を終えて思うことをお聞きしました。

「中学生の時は、野球が弱くて親を楽しませることができませんでしたが、今回楽しませることができたのではないかと思います。たくさん観客がいる甲子園球場で野球ができて幸せでした」と笑顔で語っていました。

また、全国を目指す町の子どもたちへメッセージをいただきました。

「大きな舞台に立てるのは自分の力だけでなく、支えてくださる方々がいるからだと思います。その方々への感謝の気持ちを忘れずに練習や試合に臨んでほしいです。」



▲甲子園でのホームランボール

競技かるた

本との出会いから競技かるたの世界へ
美濃島 由智さん(文命中1年)(バレットガーデン)

8月13日、東京湯島天満宮で開催された第29回全国中学生かるた選手権大会で、4位に入賞しました。

美濃島さんは小学生の時、本屋で見かけた漫画をきっかけに競技かるたと出会い、本格的に始めたそう。

自分より強い人と闘って、勝てた時の喜び、自分がどんどん強くなっていることを実感できることがうれしいと美濃島さん。競技かるたがとても楽しいそうです。

最後に、美濃島さんの好きな歌を聞きました。「み吉野の 屋の秋風 小夜更けて ふるさと寒く 衣打つなり」「みのしまよしも」と、「み」と「よし」が入っていることから。この札は絶対に取ると決めているそうです。



新聞

自分たちの視点で伝える新聞づくり
遠藤 可菜さん(向上高校2年)(円中)

第41回全国高等学校総合文化祭新聞部門に、神奈川県代表として出場し、見事、最優秀校に選ばれました。

高校に入学し、手に取った新聞委員会発行「こゆるぎ」。カラーでレイアウトがおもしろく、読んでいて楽しかったので、委員会の見学に行った遠藤さん。良い先輩との出会いもあり、入部を決めたそうです。

「高校生の私たちにしか書けない記事がある。大人の意見ではなく、自分たちの目線で書くことを忘れないようにしています」と遠藤さん。

「今後は、部活に入っていない生徒にスポットライトをあてられるような記事を書きたいです」

また、今後、子どもの虐待やヒアリの様な外来生物などの問題をテーマにした記事を書いてみたいそうです。

▼8面ある速報紙を年間50回以上、20面ある参加新聞「こゆるぎ」を年間8回発行している

